

授業科目名・形態	精神保健福祉援助演習Ⅱ 演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	阿部俊彦・石岡和志	実務経験の有無	無	開講期	4年後期

【授業の主題】

本科目は精神障害者の生活や生活上の困難について理解し、精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、事例とロールプレイング等の個別指導と集団指導を通して、実践的に習得するとともに、他の科目との関連性も視野に入れつつ、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。

【到達目標】

1. 演習を通して、精神障害者の生活や生活上の困難について理解できるようになる。
2. 演習を通して、精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術を実践的に習得できるようになる。
3. 専門的援助技術として、概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養できるようになる。

【授業計画・内容】

具体的な課題と実習時の事例や場面を材料に、精神保健福祉課題を理解した上で、面接・アウトリーチ・ケアマネジメント・チームアプローチなどの具体的技術とアプローチを総合的・包括的に用いて、課題解決のための支援をすることができる実践力を養う授業内容である。特に、実習時における個別的な体験を一般化し、実践的な知識と技術として習得できるように集団指導並びに個別指導による実技指導を行う。

第1回 オリエンテーション

第2回 実践モデルおよびアプローチ別の相談援助の理解①：ストレングスモデル

第3回 実践モデルおよびアプローチ別の相談援助の理解②：精神科リハビリテーションモデル

第4回 実践モデルおよびアプローチ別の相談援助の理解③：危機介入（自殺など）

第5回 ライフサイクルを考慮した対象者別の相談援助の理解①：ひきこもり

第6回 ライフサイクルを考慮した対象者別の相談援助の理解②：薬物・アルコール依存

第7回 ライフサイクルを考慮した対象者別の相談援助の理解③：高次脳機能障害

第8回 ライフサイクルを考慮した対象者別の相談援助の理解④：認知症の高齢者

第9回 事例作成

第10回 シナリオづくり

第11回 発表準備

第12回 事例発表〔ロールプレイ等〕・スーパービジョン①

第13回 事例発表〔ロールプレイ等〕・スーパービジョン②

第14回 事例発表〔ロールプレイ等〕・スーパービジョン③

第15回 まとめ（事例検討）

【授業実施方法】

基本的には個人演習・グループ演習とする（必要に応じて講義形式を取り入れる）。

【授業準備】

教科書を事前に確認し、わからない語句等は専門書や辞典等で調べておくこと。日頃から新聞等で報じられる精神障害者をはじめとする障害者の抱える問題に関心を持ち、ソーシャルワーク実践との関係について確認すること。

【主な関連する科目】

精神保健福祉援助実習指導、精神保健福祉援助実習、精神科ソーシャルワーク論、精神科リハビリテーション学ⅠⅡ、精神保健福祉援助技術各論ⅠⅡ、地域福祉論ⅠⅡ、福祉行財政と福祉計画など

【教科書等】

日本精神保健福祉士養成校協会編：精神保健福祉援助演習〔基礎・専門〕（第2版）、中央法規出版、2016。

【参考文献】

授業中に必要に応じて紹介する。

【成績評価方法】

提出物（ワークシートなど）70%、グループ発表等への参加状況30%で評価する。60%以上の得点で合格とする。

【学生へのメッセージ】

精神保健福祉士としての課題は精神障害者の生活問題に対応するために社会的復権と人権擁護の役割を担い、社会復帰を妨げているといわれる障壁を取り除き、地域社会の体制を整えることが挙げられる。利用者との「かかわり」を大事にする専門職の実践への準備をとらえて演習に臨むこと。